

[要点]

593年、聖徳太子は推古天皇の摂政となり、蘇我馬子と協力して政治改革を進めた。まず、家柄にとらわれずに、有能な人物を役人にとりたてる冠位十二階の制度をつくった。また、十七条憲法を定めて、役人の心得を示した。さらに、中国の隋に、小野妹子らを遣隋使として送った。聖徳太子は、仏教をさかんにするため、大和の斑鳩地方に法隆寺を建てた。この時代の文化を飛鳥文化という。

[A問題：要点確認]

593年、()は推古天皇の()となり、蘇我馬子と協力して政治改革を進めた。まず、家柄にとらわれずに、有能な人物を役人にとりたてる()の制度をつくった。また、()憲法を定めて、役人の心得を示した。さらに、中国の隋に、()らを()として送った。聖徳太子は、仏教をさかんにするため、大和の斑鳩地方に()寺を建てた。この時代の文化を()文化という。

[B 問題]

一に日く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ。
 二に日く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏、法、僧なり。
 三に日く、詔をうけたまわりては、必ずつつしめ。

- (1) 上の資料は何の一部か。
- (2) これを制定した人物は誰か。
- (3) (2)の人物が、家柄や出身に関係なく、才能のある人物を役人に登用する制度を始めた。この制度を何というか。
- (4) 上の資料は仏教の影響を強く受けているが、この当時(2)の人物が建てた現存する世界最古の木造建築物の寺院の名前を書け。
- (5) (4)の寺院などを中心にした文化を何文化というか。
- (6) 上の資料を制定した人物は進んだ文化や制度を取り入れようと中国へ使節を送っている。この使節を何というか。

[解答]

- (1) 十七条の憲法 (2) 聖徳太子 (3) 冠位十二階 (4) 法隆寺 (5) 飛鳥文化
 (6) 遣隋使

[C問題]

- (1) 589年に中国を統一した王朝は何か。
- (2) 仏教の導入をめぐる豪族間に争いがおこり、仏教を取り入れようとする(A)氏が、これに反対する(B)氏を滅ぼした。
- (3) 聖徳太子がついた役職で、女性や幼少の天皇にかわって政治を行う役目を何というか。
- (4) 聖徳太子は、何年に何という天皇の(3)となったか答えよ。
- (5) 聖徳太子は十七条の憲法で()を示した。
- (6) 法隆寺にある代表的な仏像は何か。
- (7) 聖徳太子は、中国に使節を送って中国との国交を回復し、留学生や留学僧にその政治制度や仏教を学ばせたが、当時の中国の王朝は何か。
- (8) 607年に遣隋使として中国へ派遣された人物は誰か。
- (9) (7)が滅んだ後、7世紀(628年)に中国を統一した(A)は、(B)という法律を作り、その都である(C)は国際都市として栄えた。

[解答]

- (1) 隋 (2) A 蘇我 B 物部 (3) 摂政 (4) 593年 推古天皇 (5) 役人の心構え (6) 釈迦三尊像 (7) 隋 (8) 小野妹子 (9) A 唐 B 律令 C 長安